

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

1 閉会中継続調査事件

(1) 安心して産み育てる子育て環境の充実について

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、前回委員会で、妊娠から子育てまで切れ目のない支援を進めていくことが重要であることから、子育て世代の方々へのケアや包括的な支援を行う相談機能のあり方、そして、子育てにかかわる各種事業を効果的に周知し活用してもらうための情報発信のあり方を調査のベースとすることを確認した。調査の参考とするため、子育て環境の充実に先進的に取り組んでいる都市へ行政視察を行うこと、また、調査する先進自治体や日程等については正副で調整の上、改めて各委員と協議することとしていた。
- ・ 正副としては、子育て世代の助成が抱える妊娠・出産・育児等さまざまな悩みや支援を包括的に対応する相談機能を構築し、また、子育てに関する情報やイベントを普及率の高いスマートフォンで発信するアプリケーションを提供している世田谷区と明石市を対象に調査を実施してはどうかと考えているが、皆さんいかがか。（「はい」の声あり）
- ・ それでは、そのように確認する。
- ・ 日程については、11月16日水曜日から11月18日金曜日までの3日間としたいと思うが、よろしいか。（「はい」の声あり）
- ・ それでは、そのように確認し、また別途、視察先の状況をまとめた資料を後日、配付するので、あらかじめごらんいただきたいと思う。
- ・ 次に、行政調査にかかる調査票についてだが、調査のベースとして整理した内容を踏まえ正副で調査票（案）を調製したので、事務局に配付させる。

（事務局 調査票（案）配付）

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 調査区分については、「1. 人口の推移」、「2. 出生数等の状況」といった地域の人口等の現況を初め、「3. 子育て世代の女性の悩みに対応する相談機能」、「4. 区民（市民）への情報発信」、「5. 子育て政策の現況や課題と考えていること等」といった、今回の調査内容に主眼を置いた項目としたが、調査票（案）について、各委員から何か御発言あるか。

○金澤 浩幸委員

- ・ 2枚目の5番、世田谷区の「世田谷版ネウボラ」って書いてるけれども、これは何か。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 「子育て支援の一貫した政策」って、言っているだろうか。

○議会事務局議事調査課主査（三上 敦誉）

- ・ フィンランドの子育ての政策を充実する取り組みで、いわゆる妊娠期から、子供が生まれて、その子供の例えば健診とかいろいろ子育て支援があるけれども、それを例えば保健師さんとか助産師さんとかが専属で——妊娠期から一定の子育て期まで、専属でサポートをしていくという制度が確立されていて、その取り組みが世界的に評価されてる。
- ・ 特に日本でも今、そういったような保健師だとかが、妊娠期からそういう取り組みを取り入れて政策を進めていくというのが——例えば三重県の名張市のように内閣府のモデル事業としてやっているところだとか、世田谷区についてはことしの7月から正式にスタートした。平成26年ころからいろいろ各関係機関と、そして子育て世代の親も含めて懇談を重ねて、そういったような取り組みをスタートしたということもあって、それは当市で言う、例えばマザーズ・サポート・ステーションとかも見習うところも多々あるかなということで、その取り組みについて調査していきたいという趣旨である。

○金澤 浩幸委員

- ・ わかった。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 切れ目のない子育て支援と御理解いただければ。後でまた、私のほうでも資料を用意してあるので、金澤委員にお届けしたいと思う。
- ・ そのほかに。

○市戸 ゆたか委員

- ・ ちょっと今、曖昧な記憶なんだけれども、最近、キッズプラザができて、その中にいろんな相談の業務——子供に関する相談の業務、それから情報発信のところ、そこは民生の管轄ではないかもしれないけれども、そういう新しい取り組みもされている。私もインターネットで見ただけなんだけれども、そういう情報も、私たちも持ってたほうがいいと思うので、資料としてもし提供できれば。だから、そういうのもここに書いておいたほうがいいかなと思ったものだから。

○議会事務局議事調査課主査（三上 敦誉）

- ・ 皆様にお配りした資料の2——一番後ろについているカラーのA4判になるが——一番下に10月実施ということで、こちら10月15日からオープンということになるが、今後、取り組んでいく子育ての一元的な支援ということで、こちらも記載している。そして、どのような取り組みをしていくかというのは、子ども未来部もかわりがあることから、そちらのほうの資料も皆さんにお配りしていきたいと思う。先ほど、金澤委員のほうからネウボラの話も出たが、それぞれこれから行く明石市、そして世田谷区の取り組みについては、正副委員長が調製したものを事務局のほうからお配りさせていただきたいと思うので、よろしくお願いします。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 市戸委員、よろしいか。

○市戸 ゆたか委員

- ・ はい。

○能登谷 公委員

- ・ 余りにも雑然かもしれないけれども、金目のもの。いわゆる、私も福島委員も、やっぱり特化する部分がこれから必要じゃないかっていうのは、函館にとってはあると思う。特化するというのは、お金の部分も含めて。これ、お金に関することが全然書いてないので、どうなんだろうと。世田谷区とか明石市では、例えば……。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 事業費のことか。

○能登谷 公委員

- ・ いやいやいや、3歳児まで医療費が無料だとか、何無料だとか、そういう手当。いわゆるお金の手当に関して何もないので、そういう部分というのもやっぱり必要でないかなと、私、視察の中で、思うんだ。ずっと見てると、これソフトの部分なんだけれども、やっぱりハードの部分も必要になってくるんじゃないか。どのくらいの事業費というか、お金をかけてやってるのかどうか、その子育てに関して。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 一応、お聞きしておいて。どの程度までこちらとして準備できるかっていう……。

○能登谷 公委員

- ・ いや、向こうに聞くのさ。だから、例えば世田谷区でどうなんだって。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 訪問先で聞くのではダメか。

○能登谷 公委員

- ・ いや、いいよ。訪問先で聞いてもいいけれども、最初から題にのつけてもいいんでないかってこと。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 皆さん、どうか。（「必要だと思う」の声あり）必要だと思うか。

○斉藤 佐知子委員

- ・ 必要だと思うっていう意見もちろんあるけれども、もともとこれ、調査をするっていう調査事件の最初に、いろんな御意見があって——各委員から。で、医療費の問題だとか、そういう金銭的な経済援助が一番望ましいんじゃないかっていう話も出てた中で、民生の所管の中で何を調査するかっていう話で、今回はこの相談機能のことと情報発信というところに絞られてきたのかなって、私は思っていたけれども。だから、聞くなら聞くでいいけれども、それは決して調査の事項ということにはならないというのは確認させてもらいたいけれども。

○能登谷 公委員

- ・ そうなのか。事項にはならないか。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 一応、先ほど——斉藤委員からもまとめていただいたが、今回の調査の目的……。

○能登谷 公委員

- ・ いや、委員長、いい。絞ったんだから、現地に行って聞く。そのほうが早いだろう。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ ただ、能登谷委員のおっしゃったことも、事務局とともに受けとめ、準備できることは——あえてまたあんまり、あちらに問い合わせできないようなことも、事務局同士の状況もあると思うので。

○能登谷 公委員

- ・ わかるんでないか。

○福島 恭二委員

- ・ 今、言うように、ネウボラを導入するってことだけれども、そういうことも含めてずうっとあるんでないのか。網羅されてるんじゃないのかな。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ わかった。一応、次の資料をまた見ていただいて——ただ、今、御意見あったように、どこまでも、子育て世代の方々へのケアや包括的な支援の相談機能、あともう一つは、子育てに係る各種事業を効果的に周知し活用してもらうための情報発信のあり方、この2つが今まで絞ってきたポイントであるので、そこを踏まえながらということで。そこにも通じるんだと言われればそこまでだけれども、一応、そこに付随して準備しているものがあるので、また見ていただいての御判断をいただきたいと思うが、どうか。

○能登谷 公委員

- ・ いいよ。

○福島 恭二委員

- ・ 本人は当日、聞くって言ったから。

○能登谷 公委員

- ・ 委員長、いいよ。俺はあっちで聞くから。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 今、能登谷委員がおっしゃったように、あちらで質問するのは全然構わないと思うので。一応、ポイントに沿って、資料を準備させていただくので、御了解いただきたいと思う。（「はい」の声あり）
- ・ そのほかに、何かあるか。（「なし」の声あり）
- ・ それでは、そのように確認する。
- ・ 改めて、本件について各委員から何か御発言あれば、ここで受けておくが。（「なし」の声あり）
- ・ 議題終結宣告

2 その他

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か御発言あるか。（「なし」の声あり）
- ・ 散会宣告

午前10時16分散会